

子育てを楽しく 「にこにこ広場」を開催

7月14日（ひだまりの家）

市内の子育て関連施設による協働で、0歳児の親子を対象にした子育て講座「にこにこ広場」が開催されました。手作りおもちゃ、ふれあい遊び、身体測定などのコーナー、離乳食や子育てに関する相談もあり、集まった約40組の親子が楽しいひとときを過ごしました。



7月6日（葉山小学校）

認知症の人や家族を見守る「認知症サポーター」を養成するための講座が本市で初めて小学校の授業で行われました。「キャラバン・メイト」の皆さんによる寸劇やクイズで認知症を学んだ6年生87人が、新たな認知症サポーターになりました。

小学生が授業で認知症を学習



7月24日（栗東歴史民俗博物館）

栗東音楽振興会（RISS）と栗東歴史民俗博物館が協働で開催する、「RISSミュージアムロビーコンサート」が開催されました。25回目を数える今回は、村中宏さんのファゴットと、笹まり恵さんのピアノ演奏で、約100人が美しい音色に耳を傾けました。

ファゴットとピアノによるコンサート

スポーツを頑張る小学生 ～全国大会に向けての決意～



大宝バレースポーツ少年団

大宝小学校の体育館で練習に励む、小学4～6年生の皆さんが、昨年に引き続き、「第36回全日本バレーボール小学生大会」に出場。キャプテンが「一戦一戦頑張っていて、昨年より、いい成績を残せるようにしたいです」と力強い決意表明をしました。

バレーボールで2年連続全国大会



左：小林俊輝さん（治田西小6年・走り幅跳び：4m47）
「今年も滋賀予選を勝ち抜いて、必ず全国大会で勝負したいと練習してきました。5mを跳んで表彰台に乗れるように頑張ります」。

右：臼井創太さん（葉山東小5年・100m：14秒5）
「5年生から栗東陸上教室に通い、陸上の楽しさを知りました。全国大会は不安と緊張でいっぱいですが、楽しんで全力で頑張りたいです」。

※ともに「第32回全国小学生陸上競技交流大会滋賀大会」で優勝し、横浜での全国大会に出場。名前横は滋賀大会での記録。

陸上で全国大会

フォト ニュース



ブラジルのことを学んだよ

8月4日（治田東児童館）

治田東児童館の保護者クラブ「ママプロジェクト」の皆さんと治田東児童館、治田東民生委員・児童委員協議会、JICA関西との共催により、「Boa tarde, Brasil！（こんにちはブラジル）」が開催されました。参加した子どもたちは、ブラジルのことについて学んだ後、各コーナーでブラジルの遊びや手作り楽器を使ったサンバのリズムなどを楽しみ、異文化への理解を深めました。



自然からもらった色で 野染めに挑戦

7月6日（下戸山地域）

子どもたちが自然の中でのびのびと遊び、育つ場をつくるため、下戸山地域で活動する「たまたばやし」の皆さんが、野染めに挑戦しました。自然の草花から作ったさまざまな色で、点・線・面を自由に描き、白い布を染めた参加者。色と色が出合い、美しい作品が完成しました。



ラジオ体操で 心地よい汗

8月5日（栗東運動公園）

市制施行15周年を記念し、「平成28年度夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催されました。ピアノの生演奏でラジオ体操した後、講師による「ポイントレッスン」を受けた約1000人の参加者。心地よい汗をかき、すがすがしい1日をスタートさせました。



※6時30分から、NHKラジオ第1放送で全国に生放送されました。

